

臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学小児科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年5月 福島県立医科大学医学部小児科学講座
講座主任 細矢 光亮

【研究課題名】小児の急性脳症早期診断のための髄液中液性マーカーの検討

【研究期間】 平成25年5月～令和5年4月

【研究の意義・目的】急性脳症は臨床症状や検査結果から総合的に診断するため、発症早期に診断することが難しく、治療が遅れると後遺症を残すことがあります。そのために早期に急性脳症と他の疾患を区別できるマーカーが望まれており、本研究ではそのマーカーの確立が目的です。具体的には、髄液および血清の特異的な糖タンパクを測定することにより急性脳症のような強い中枢性炎症疾患を他の疾患と区別できるかどうかを検討します。また、髄液中の糖鎖成分であるプロテオグリカン（コンドロイチン硫酸）をマーカー候補として測定します。新たなマーカー候補が見いだされた場合には、産生細胞を同定するために剖検脳薄切切片を用いた免疫組織化学を行います。最終的には髄液および血清のマーカーの測定・分析法を実用化できる端緒となることを目的としています。

【研究の対象となる方】

1. 当院に2013年4月以前にけいれん性疾患もしくは他の疾患で入院し、検査として髄液検査および血液検査を受け、髄液や血清の残余が保存されている方
2. 愛知医科大学において病理解剖が行われた方
3. 当院に2013年5月以降にけいれん性疾患もしくは他の疾患で入院し、本研究参加に同意した方

【研究の方法】当院もしくは研究協力病院において、けいれん性疾患もしくは他疾患の患者から診断のために採取された髄液および血清の保存検体を用い、ウエスタンブロット法及びELISA法にて測定します。各々の糖タンパクについて急性脳症で上昇する特徴的な糖タンパクかどうかを解析検討します。コンドロイチン硫酸については高速液体クロマトグラフィーで測定を行います（2020年3月まで）。マーカー候補分子が同定された場合には、愛知医科大学・加齢医学研究所に保存されている剖検脳薄切切片を用いた免疫組織化学的解析を行います（2020年3月まで）。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	福島県立医科大学小児科学講座	教授	細矢光亮
主任研究者	福島県立医科大学小児科学講座	准教授	橋本浩一
分担研究者	福島県立医科大学小児科学講座	講師	佐藤晶論
分担研究者	福島県立医科大学小児科学講座	助教	鈴木雄一

研究協力病院

(大原総合病院、寿泉堂総合病院、星総合病院、太田西ノ内病院、公立岩瀬病院、白河厚生病院、竹田総合病院、公立相馬総合病院、いわき市医療センター)

【人体から採取された試料等の利用について】

日常診療にて採取された髄液および血清を利用します。患者剖検脳薄切切片を利用します。

【他の機関等への試料等の提供について】

神戸薬科大学へ髄液、血清の一部を提供し、コンドロイチン硫酸の測定を行います。検体はすべて匿名化されており、個人が特定される情報が提供されることはありません。

【本研究に関する問合せ先】

本研究に関するお問い合わせがございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 鈴木雄一
電話:024-547-1295 FAX: 024-548-6578
E-mail:susan@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 鈴木雄一
電話:024-547-1295 FAX: 024-548-6578
E-mail:susan@fmu.ac.jp